

トしておきます⁶。こうしておけば、とりあえず、目次や早く出来上がった原稿の部分を見ることができるわけです。

2.6.2 よく使うコマンドを input で登録しておく

同じ形式の文書を頻繁に使う場合、前のファイルをコピーしてもいいのですが、自分だけの命令として登録しておけば便利です。よく使う命令を書いたファイルを作っておき、文書中に`\input{...}`で書き込むだけです⁷。

⁶コメントアウトしなくても、コンパイル時にリターンキーを押せば、ないファイルは無視されます。

⁷実際は、自前のマクロとして、新しい命令を作り、それをファイルに登録するという形が普通です。これについては、文献を参考にしてください。

2.7 総合演習

1. このテキストを作ってみましょう。input を使って、ファイルを分割してください。
2. 自分の論文を、組版してみましょう。図表や参考文献なども入れてみましょう。